

河川生態学術研究会25周年記念シンポジウム／ 第23回河川生態学術研究発表会

企画グループ

河川生態学術研究会発足から25周年を迎え、25周年記念シンポジウムと第23回河川生態学術研究発表会を令和3年10月28日と29日にAP浜松町(WEBによるオンライン併用)にて開催した。

◆河川生態学術研究会25周年記念シンポジウム (令和3年10月28日開催)

河川生態をけん引してきた同研究会のこれまでの歩みや研究成果について、歴代関係者の解説で振り返り、研究会の課題や今後の期待が示された。また、山田事務次官から河川生態の解明に尽力された研究者への感謝状贈呈があり、井上局長の閉会のあいさつでは、流域治水など新たな取組みの中で河川生態学術研究がますます重要になることなどが述べられた。

【記念講演】

「河川生態学術研究会発足以来の思い出—発足時のねらいは達成されたのか?—」
川那部浩哉(京都大学名誉教授)

【リレー講演】

- ①研究会発足時の出来事を振り返る・・・関克己(公益財団法人河川財団理事長)
- ②当初の研究グループの研究成果・出来事を振り返る・・・平林公男(前千曲川研究グループ代表)、辻本哲郎(元木津川研究グループ代表)
- ③歴代委員長の立場から四半世紀を振り返る・・・小倉紀雄(第3代委員長、元多摩川研究グループ代表)、谷田一三(第4代委員長)
- ④国土交通省の立場からの四半世紀の振り返りと今後の展望・・・萱場祐一(前土木研究所水環境研究グループ長)



川那部先生による記念講演



山田国土交通事務次官より感謝状贈呈



井上水管理・国土保全局長挨拶

◆第23回河川生態学術研究発表会(令和3年10月29日開催)

それぞれの研究グループの発表が行われるとともに、今後の河川生態学術研究会についてのパネルディスカッションが行われた。パネルディスカッションにおいては、研究会と河川管理者とのより活発な対話や情報交換が必要なこと、研究会が河川管理に関する政策提案を検討することなどについて議論された。

【研究発表】

筑後川研究グループ(鬼倉徳雄)
狩野川研究グループ(塚越哲, 知花武佳)
木津川研究グループ(竹門康弘, 竹林洋史, 片野泉, 田中亜季, 石田裕子)
石狩川・十勝川研究グループ
(中村太士, 根岸淳二郎, 石山信雄)
総合研究グループ気候変動チーム(一柳英隆)
総合研究グループ生態系ネットワークチーム
(佐藤拓哉, 宇野裕美)

【パネルディスカッション—今後の河川生態学術研究会について—】

島谷幸宏, 内藤正彦, 宇野裕美, 鬼倉徳雄, 知花武佳, 原田守啓, 根岸淳二郎



パネルディスカッション